

植物性油脂添加飼料による採卵鶏の暑熱対策

養鶏研究所

目的



採卵鶏は夏の高温環境下では、飼料摂取量が低下し、生産性が低下します。そこで、抗酸化成分などを多く含む植物性油脂に着目し、飼料に含まれる動物性油脂を植物性油脂に代替することによる生産性への影響を調査しました。

研究内容

【調査飼料】 動物性油脂（対照区）

植物性油脂（米油、パーム油、菜種油）

（試験1） 動物性油脂3%、植物性油脂3%

（CP17%・ME2,800kcal/kg）

（試験2） 動物性油脂3.6%、植物性油脂3.16%

（CP17%・ME3,000kcal/kg）

【供試鶏】 褐色卵鶏・白色卵鶏

（試験1：154～223日齢）（試験2：228日齢～311日齢）

【調査項目】 ヘンデー産卵率

（期間内の産卵個数÷期間内の延べ羽数×100）

表 試験1と試験2の生産性

鶏種	項目	対照区		植物性油脂					
				米油		パーム油		菜種油	
		試験1	試験2	試験1	試験2	試験1	試験2	試験1	試験2
褐色卵鶏	HD産卵率 (%)	96.7	92.0	97.2	93.7	97.5	83.0	98.2	96.0
白色卵鶏	HD産卵率 (%)	93.0	94.5	94.2	93.0	94.2	91.5	96.4	93.2

試験1では対照区と比較して、植物性油脂添加区で産卵率向上する結果となりましたが、試験2では試験1よりも産卵率が低下する傾向になりました。

今後の取り組み

生涯生産性に影響を与えるとされる暑熱期に産卵前期の鶏を用い生産性への影響を調査する予定です。